

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）食生活科学科 食物科学専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
フードスペシャリスト論	松岡康浩 杉山靖正	3年生の資格試験合格に向けがんばりましょう。
微生物学	守田和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
毒性学	大道公秀	分析結果を見たところ、理解度・満足度についておおむね良好であったと見受けました。課題については自分で考えをまとめたり、自主的に調べることができるようになり良かったと考える人もいた一方で、文章のまとめ方に苦労した人もいたように見受けました。文章のまとめ方についてのレクチャーも今後行えるような授業展開も考えていきたいと思いました。
食品衛生学実験	大道公秀	分析結果を見たところ、理解度・満足度についておおむね良好であったと見受けました。レポートについては結果から考察をまとめていくことができ良かったと考える人もいた一方で、レポートのまとめ方に苦労した人もいたように見受けました。レポートのまとめ方や、考察のポイントについて、授業内で示すような授業展開も考えていきたいと思いました。
機器分析実験	杉山靖正	非常に難しい内容を含む実験でしたが、みなさん良く考えて積極的に臨んでもらえたものと感じています。 この実験での姿勢を、卒業研究などにつなげてもらえたらと思います！！
調理学実験 b	数野千恵子	本授業の狙いは、料理に使用する材料や調味料の違い、投入順序などが、調理の際の味覚や仕上がりに大きく影響することを実験を通して五感で感じ、その科学的な根拠を学ぶこととしています。一つ一つの食材の役割や性質を科学の理論で理解して、おいしく調理をするためや、食品を開発するために役立ててください。今後の成長を期待しています。
食品加工学 a	守田和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
食品鑑別論	奈良一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。
フードシステム各論	松岡康浩	フードシステムについて、様々な公表されている資料をできるだけ提示して解説しました。その中で課題を見出し、考えるきっかけとして欲しいと思います。
食品学 a	奈良一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。
食品分析学	杉山靖正	この講義は難しい内容を含む分野ですが、みなさん良く考えて学習してもらえたように感じます。14回のうち、コロナ対応により7回がZOOM開講となりましたが、対面授業の再開時に復習時間をつくって理解度を高めるよう工夫しました。ぜひこの分野をもっと学びたいと思っていただけたらと思います。講義終了後も不明な点等あれば、気軽に質問に来てくださいね。
フードマーケティング論	松岡康浩	マーケティングには正解はありません。自分ならどうするかと考える習慣をつけて下さい。
公衆衛生学 a	佐々木溪円	回答者の約5割は、予習復習の時間が30分未満と回答しています。この結果は、他専攻の同科目と比較して多くなっています。教科書を読むだけでなく、教科書で初めて知る単語やキーワードを調べて授業に出席したくなる工夫が必要と考えました。

[2021（前期）食生活科学科 食物科学専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生化学	山崎壮	<p>食物科学専攻は、食生活科学科の3専攻の中で最も文系の性格が強いです。管理栄養士専攻と健康栄養専攻のように栄養学を専門的に学ぶことまでは必要ないですが、栄養学の基礎知識は習得してほしいです。そこで、この「生化学」の授業は、高校「生物」と1年次の「基礎栄養学」の延長のようにしたつもりです。過度な糖質制限の危険性やNHKスペシャルの番組などを紹介することで、ヒトの食生活の意味や、ヒトが進化の過程で獲得してきた「食べて生きていく能力」の素晴らしさを感じてもらえればうれしいと思っていました。授業アンケート（教員からの追加質問）の回答をみると、幸いなことに、この意図は割と成功であったかなと思えました。</p> <p>アンケート集計値からは、説明や配付資料が難しかった、この分野をさらに学びたいとは思わない、この授業で自分の成長が感じられなかったなど、マイナス評価がやや目立ちました。この1～2年間の入学生に占める文系（非理系）志向の学生の比率が確実に増加していることから、理系科目に興味を持ってない学生がいることは当然の結果であると考えます。「生化学」で取り上げた体系的知識（定期試験に出したような知識）にはどうしても興味を持てなかったのであれば、それを素直に受け入れてよいと思います。そのような場合には、「生化学」の授業で取り上げたトピックスの中の一つでも記憶にとどめていただければうれしいです。そして、自分が興味を持てるほかの領域を見つけ出し、その領域の勉強に自分のエネルギーを投入してほしいです。</p> <p>コロナ禍で第4回～第10回の授業をZoomによる映像配信授業とし、リアルタイム配信と録画授業配信によるオンデマンド授業の併用としました。昨年度もコロナ禍でオンライン授業でしたが、資料配付型（教員の肉声での説明映像はなし）のオンデマンド授業を行い、学生アンケートで不評だったので、今年度はZoom授業としました。授業方式としては、約50%が対面授業がよいとしている一方で、オンデマンド型+双方向型+オンデマンド型と双方向型の併用の合計も約50%でした。理由としては、対面授業による緊張感・集中力の保持を挙げる意見と、オンライン授業で録画授業をくり返し視聴できるメリットを挙げる意見が特徴的でした。なお、皆さんからの授業アンケート回答に対する教員からのコメントをmanabaに収載しています。長文ですが、読んでいただけるとうれしいです。</p>
フードコーディネーター論	数野千恵子	<p>オンデマンドでの授業であったが、アンケート結果から、理解度は概ね良好であったと考える。昨年度の経験から、今年度は質問しやすいように、リアクションペーパーを利用して質問を受け付けた。思ったより質問は多くなかったが、学生が理解し難かった部分があったので、次年度の授業資料に反映させることとする。</p> <p>3年時には、テーブルマネージメントについて、実際に見たり触ったりできる演習授業が開講されているので、履修を検討してもらいたい。</p>
食品学実験	奈良一寛	<p>実験を通して、さらに専門性を活かす学びをしたいという意欲がみられるような内容に充実させていきたい。</p>
食品衛生学 a	大道公秀	<p>分析結果を見たところ、理解度・満足度はおおむね良かったと見受けました。食中毒の危険性を理解できてよかった旨のコメントもありましたが、引き続き食中毒事例を紹介しながらその危険性と防御について伝えていくようにしたいと思いました。また引き続き、自主的な学びを促すことができるように教育コンテンツのアップなど工夫してまいります。</p>
保育学	井口眞美	<p>オンデマンドが多くなりましたが、図工室、保育演習室での学修もでき、みなさんが楽しんで取り組んでくれたことが何よりよかったと思っています。子どもや保育に関心をもつきっかけになってくれればと願っています。</p>

[2021（前期）食生活科学科 食物科学専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎化学	山崎壮	<p>コロナ禍で第4回～第11回の授業をZoomによる映像配信授業とし、リアルタイム配信と録画授業配信によるオンデマンド授業の併用としました。昨年度もコロナ禍でオンライン授業でしたが、資料配付型（教員の肉声での説明映像はなし）のオンデマンド授業を行い、学生アンケートで不評だったので、今年度はZoom授業としました。</p> <p>授業方式としては、約50%が対面授業がよいとしている一方で、オンデマンド型+双方向型+オンデマンド型と双方向型の併用の合計も約50%でした。理由としては、対面授業による緊張感・集中力の保持を挙げる意見と、オンライン授業で録画授業をくり返し視聴できるメリットを挙げる意見が特徴的でした。</p> <p>授業内容に対しては、高校の復習ができた、高校の時よりも理解が深まったなどのプラス評価意見があった一方で、アンケート集計値からは、説明や配付資料が難しかった、この分野をさらに学びたいとは思わない、この授業で自分の成長が感じられなかったなど、マイナス評価が目立ちました。この1～2年間の入学生に占める文系（非理系）志向の学生の比率が確実に増加していることから、典型的理系科目である「基礎化学」に興味を持っていない学生がいることは当然の結果であると考えます。「基礎化学」を履修してみても自分はこの分野にはどうしても興味を持てなかったのであれば、それを素直に受け入れてよいと思います。化学に興味を持てなかったならば、自分が興味を持てるほかの領域を見つけ出し、その領域の勉強に自分のエネルギーを投入して行ってほしいです。1年生の時は、様々な科目を履修する中で、自分が興味を持てる領域と興味を持っていない領域を明らかにする時期と思ってほしいです。</p> <p>なお、皆さんからの授業アンケート回答に対する教員からのコメントをmanabaに収載しています。長文ですが、読んでいただけるとうれしいです。</p>
家族関係論	細江容子	<p>回答者が少ないのでよい評価を得てはいるが、COVID-19の問題によるリモート対応での課題もあり、より良い講義にするためにManabaやZoomなどでの授業に関して他大学の教員との情報の共有を行う事や学生からの情報を得るなどして、より良い講義のために努力して行きたい。</p>
食商品学	松岡康浩	<p>身近な食商品について、新たな視点で見る習慣をつけましょう。</p>
栄養と健康	辛島順子	<p>「栄養と健康」では、疾病の一次予防の視点から、1年次・2年次で学んだ内容に追加して、健康に関する施策や食事摂取基準、ライフステージ別の健康管理などを学びました。</p> <p>今後の日常生活においても学んだことを役立ててください。</p> <p>また、これから受験するフードスペシャリスト試験や将来の進路を考える際に、学習した内容を参考にしてください。</p>
基礎調理 1	佐藤幸子	<p>基礎調理 1 の授業により、約 9 割の学生さんが専門的な食の授業に興味を持ち、これからの意欲に結びついたことはとても毎週連続した実習授業の成果だとか思います。ぜひ、皆さんも「継続は力なり」とあるように日々調理に興味を持ち、実践して行って欲しいと思います。</p>
生活学原論	小野瀬裕子	<p>2021年はコロナ禍でオンデマンド形式の講義となりました。今後、人口が激減することが予想される日本で、家族や地域の生活基盤を維持するために、皆さんの柔軟な発想と地域貢献が期待されます。本講義では、先人たちの困難を乗り越える知恵を学び、今後想定される社会変化に応じたレジリエンスを各自が構築できるように構成しました。皆さんの持てる力と大学で学ぶ専門知識を生かして、よりよい生活を築いてください。</p>
家庭工学	加藤木秀章	<p>最近、ケトルですぐにお湯が沸かせたり、省エネ家電が推奨されている時代です。多様な視点で実物を見てみると、より学修効果が向上します。</p>
スポーツと健康科学 a	奈良典子	<p>貴重なご意見多数、有難うございました。講義方法が安定しておりませんが、皆さんにご協力をいただき、対面およびZOOMと同時に実施することができました。有難うございました。</p>
食産業演習	松島照彦 山崎壮	<p>コロナ禍で、企業見学主体の授業構成であった昨年度の授業が休講に追い込まれてしまったことから、今年度は、演習授業5割、企業見学5割の授業構成にしました。今年度もコロナ禍で見学を受け入れてくださる企業が大幅に少なくなり、履修者の皆さんには申し訳なかったですが、企業見学2件と企業のオンライン講義2件を9月に実施できることだけでもよかったです。</p> <p>演習授業では、グループワークで食品の新しい商品企画の検討とそのCM動画の作成を行いました。楽しめたでしょうか。少人数授業のよさを活かして、学生と教員がともにおもしろかったと思える授業にしていければと思います。</p>